

[競技規則]

フットサルの試合は実施年度の日本サッカー協会「フットサル競技規則 2022/23」および「通達事項(※)」に準じる。
ただし、豊島区サッカー協会ジュニア委員会で定められた「大会要項細則」が優先する。

[大会要項細則]

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、人工芝、天然芝、土とする。

サイズは「豊島区サッカー協会 ジュニア豊島区リーグ 実施要項(最新版)」のとおりとする

(2) ボール

試合球はフットサル3号球

(3) 競技者の数

競技者の数：5名（試合開始時に5名に満たない場合も試合を行う。

試合中に怪我等による人数不足により5名に満たなくなった場合にも、そのまま続行する。

ただし、3名未満になった段階で当該チームは不戦敗(0対3)とする)

交代要員および交代を行うことができる数：制限なし

(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)

(4) ベンチ入りするチーム役員の数：1名以上5名以下とする。

(5) 審判員

主審、第2審判の2審制とする

尚、決勝戦及び三位決定戦は審判部にて主審、第2審判を担当する。

但し、帯同チーム審判員に主審、第2審判を任命する場合もある。

(6) テクニカルエリア

設置する。

尚、ベンチからのプレーの指示は、テクニカルエリア内で任意の1名のみが可能とする。

(7) 競技者の用具・ユニフォーム

① 靴は運動靴、トレーニングシューズもしくはフットサルシューズとする。

尚、紐とマジックテープ併用型及びマジックテープ付きの靴は、靴の表面上に留め具として金具・プラスチック等がない場合は使用を許可する（全学年共通）

スパイクの着用は、禁止とする。

② 両チームの選手（キーパー含む）、ジャージ（シャツ）が同色彩の場合には、ビブスの着用を認める。

③ アンダーシャツ及びアンダーショーツに関しては、「フットサル競技規則」第4条「基本的な用具」に準ずる。

但し、ユニフォームの主たる色のシャツ・ショーツの準備が難しい場合は、同一チーム内でシャツ・ショーツの色を統一することとする

④ 半袖ユニフォーム及び半袖ユニフォーム+アンダーシャツ（長袖ユニフォーム）の同一チーム内の混在を認める。

⑤ ユニフォーム上着の裾をパンツに「入れる・入れない」は、各チームの判断とする（競技規則としてはどちらでも良い）

⑥ すね当ては必ず着用のこと。

(8) 試合時間

大会規定に準じる。

また、アディショナルタイムの表示及び適用はしない(但し、選手の負傷対応及びGKの交代は除く)
尚、勝敗を決定するためにペナルティーマークからのキック(KFPM)を実施する場合には下記とする。

①共通事項

- ・実施エリアは、主審が決定する
- ・キックの先行/後行はコイントスにて決定する(勝ったチームが実施順を選択できる)
- ・特定キッカーの5名を決定し、各チーム5名でキックを行う。
- ・勝敗が決定しない場合は、サドンデスで勝利チームを決定する(キッカーの順序変更可)
- ・ペナルティキック方式に入る前のインターバルは原則3分とする。

(9) 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④ 交代は、主審の承認を得る必要はない。
 - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(10) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名のチーム役員がピッチへの入場を許可される。

(11) その他(特記事項)

- ① 累積ファウル(5ファウル)は適用しない(豊島区ローカルルール)
- ② タイムアウトは適用しない(豊島区ローカルルール)
- ③ 交代の手続きによる違反は警告としない(繰り返しや故意の違反は除く)(豊島区ローカルルール)
- ④ スライディングについては、正規なタックルは反則としない(2020年度より豊島区ローカルルール撤廃)
- ⑤ キックインは、ボールをライン上に置き、蹴る際の軸足はコート内に入っても良い
- ⑥ キックオフは、ボールが前後どちらかに動いた瞬間にインプレーとなる
- ⑦ キーパーが手で扱ったボールがノーバウンドでハーフウェイラインを超えた場合は、ハーフウェイライン上の任意の場所から間接フリーキックで再開する。
- ⑧ キーパーが足で蹴った(パント、クリア、ドリブル等)ボールがノーバウンドでハーフウェイラインを超えた場合は、反則としない。
- ⑩ キーパー起点・キーパー経由したボールが相手選手に触られる前にキーパーに戻され、キーパーが触れた場合にはペナルティエリアをボールが横切りキーパーが掴んだ場所から垂直に一番近いペナルティエリアライン上からの間接フリーキックで試合は再開される。
- ⑪ 試合開始前のコイントスは、勝ったチームが攻めるゴール若しくはキックオフを選ぶことができる
- ⑫ 各種リスタート時の守備側競技者のボール等から離れる距離(JFA主催のジュニアフットサル大会規定)
フリーキック：4m
コーナーキック：4m
キックイン：4m
ドロップボール：2m

(12) 審判員に関して

- ① 代表者・審判会議は、大会日程表記載の時間に実施するため、各チーム必ず1名以上は参加すること。

前 葉 よ り

〔懲罰規則〕

- (1)今大会において、警告(イエローカード)が累積2枚となった選手は、次の1試合に出場できない。
退場処分(レッドカード)を受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (2)退場選手が出た場合には、プレー再開2分後に交代要員をチームとして投入できる。
- (3)今大会において、警告(イエローカード)が累積2枚となったチーム役員は、次の1試合にベンチ入りできない。
退席処分(レッドカード)を受けたチーム役員は、次の1試合にベンチ入りできない。

2019年 5月11日 初版

2020年 9月10日 第二版改定

2020年11月 7日 第三版改定

2021年12月13日 第四版改定

2023年12月 1日 第五版改定

2024年 4月 1日 第六版改定 (改定部分は赤字で強調)

以 上